

「第8回 シンポジウム 関西のインフラ強化を進めるために —世界のリーディングエリアとするために—」

開催報告

(一社)近畿建設協会

関西を日本のリーディングエリアとしていくために、必要なインフラ整備や仕組み等について、産官学の多くの有識者で方向性を議論し、実現に向けた構想などをとりまとめて広く広報していくため、平成29年4月に「関西のインフラ強化を進める会」を発足させました。この度、第8回シンポジウムを10月22日に建設技術展会場において開催しましたので、その報告をします。

- ①実施日時：2020年10月22日（木）13:00～15:00
- ②会場：マイドームおおさか 建設技術展会場
- ③出席者：100名以上



山田氏



溝口氏



谷口氏



小林氏

プログラム

13:00～	開会挨拶
13:05～ 13:35	基調講演 山田邦博氏（国土交通省 技監） 「防災・減災、国土強靱化、さらにはポストコロナの日本経済再生を担う社会インフラ整備の在り方について」
13:35～ 14:05	基調講演 溝口宏樹氏（国土交通省 近畿地方整備局長） 「令和元年東日本台風での災害対応～私が福島で経験したこと～」
14:05～ 15:00	パネルディスカッション 「4つの視点から考える西日本主導の国土強靱化」 コーディネーター 小林潔司氏（京都大学経営管理大学院 特任教授） パネリスト 谷口博昭氏（建設業技術者センター 理事長 /土木学会 次期会長） 山田邦博氏（国土交通省 技監）

はじめに「防災・減災、国土強靱化、さらにはポストコロナの日本経済再生を担う社会インフラ整備の在り方について」と題して、国土交通省技監 山田邦博氏による基調講演が行われた。山田氏からは、近年甚大化する自然災害と新型コロナウイルスの影響を鑑み、国土交通省が総力を挙げる「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト～いのちと暮らしをまもる防災減災～」を中心にご講演いただいた。

続いて「令和元年東日本台風での災害対応～私が福島で経験したこと～」と題して、国土交通省近畿地方整備局長 溝口宏樹氏による基調講演が行われた。溝口氏からは、東日本台風における災害対応とこれからの課題についてのお話を中心に、次のパネルディスカッションへ繋がる今後の関西のプロジェクトにも触れてご講演いただいた。

その後のパネルディスカッションでは、「4つの視点から考える西日本主導の国土強靱化」をテーマに、パネリストの谷口氏、山田氏よりコロナ禍における将来を見据えた堅固なインフラ整備のための西日本連携の在り方や、西日本主導による複眼型の国土構造実現等に向けた提案が行われた。

第12回委員会

日時：2020年12月14日（水）17:00～

会場：キャッスルホテル7階

「関西のインフラ強化を進める会」
シンポジウム



題して基調講演した。
パネルディスカッションは「4つの視点から考える西日本主導の国土強靱化」をテーマに設定。小林潔司京都大学経営管理大学院特任教授のコーディネートで、谷口博昭建設業技術者センター理事長・土木学会次期会長と山田技監が、パラタイムシフトを踏まえたこれからの関西が担うべき役割や西日本連携の重要性などを説いた。

22日午後は、関西のインフラ強化を進める会が第8回シンポジウムを開催。最初に国交省の山田邦博技監が「防災・減災、国土強靱化、さらにはポストコロナの日本経済再生を担う社会インフラ整備の在り方について」、近畿整備局の溝口宏樹局長が「令和元年東日本台風での災害対応」私が福島で経験したこと」と